



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルゴグラフィックス
コード番号 7595 URL <http://www.argo-graph.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 藤澤 義麿

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 伊藤 俊彦

TEL 03-5641-2037

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	18,706	10.4	558	33.8	699	30.1	358	42.9
22年3月期第3四半期	16,947	△23.4	417	△75.0	538	△69.0	250	△69.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	36.01	—
22年3月期第3四半期	25.20	25.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	20,811	14,819	64.4	1,345.59
22年3月期	20,771	14,864	64.9	1,355.17

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 13,393百万円 22年3月期 13,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	50.00	50.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	8.5	1,170	34.2	1,260	15.2	670	△9.9	64.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 10,454,100株 22年3月期 10,454,100株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 500,250株 22年3月期 500,250株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 9,953,850株 22年3月期3Q 9,953,855株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国経済の好調を背景にゆるやかな景気回復の兆しを見せたものの、ヨーロッパの金融と財政に対する不安に起因する外国為替市場における円高やデフレの更なる進行、雇用情勢にも改善が見られず、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要取引先である自動車・電機業界におきましては、環境対応製品の開発競争や為替変動に影響を受けにくい収益体質を構築するため、生産体制の見直しが世界的な規模で進んでおります。

このような環境の中、当社グループは「3次元設計システム」と「CAD応用技術」を中核とした「物造りの全工程の生産性向上を視野に入れたソリューションの提供」について、企業の製造部門ばかりでなく研究開発部門にまで範囲を広げ、サーバーの統合や置き換えによるコストの低減を目指した提案活動に注力するとともに、取引先企業の設備投資額の減少により業界のパイが縮小していく中、昨年2月に買収した㈱HIT（旧社名：伯東インフォメーション・テクノロジー㈱）と事業統合を図るなど、シェアの拡大に積極的に取り組みました。

その結果として、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が18,706百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は558百万円（同33.8%増）、経常利益は699百万円（同30.1%増）、四半期純利益は358百万円（同42.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

PLM事業につきましては、取引先企業の設備投資が回復傾向にあること、及び㈱HITとの事業統合効果などにより、売上高が17,647百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は583百万円（同19.0%増）となりました。

EDA事業につきましては、同事業を担う㈱ジータットの主要顧客である半導体及び液晶関連市場の動きが鈍く売上高が1,059百万円（前年同四半期比2.3%減）となりましたが、コストの節減を徹底したことにより営業利益は△11百万円（前年同四半期は△63百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、20,811百万円となりました。

(資産)

流動資産は、現金及び預金が1,685百万円減少、受取手形及び売掛金が580百万円増加、商品が218百万円増加、仕掛品が145百万円増加、その他が217百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比956百万円減の13,825百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が63百万円減少、無形固定資産のうち、のれんが12百万円減少、その他が55百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が287百万円増加、長期預金が900百万円増加、その他が58百万円減少したことにより、前連結会計年度末比996百万円増の6,985百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が464百万円増加、未払法人税等が233百万円減少、賞与引当金が174百万円減少、役員賞与引当金が30百万円増加、その他が14百万円減少したことにより、前連結会計年度末比73百万円増の4,841百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が13百万円減少、退職給付引当金が83百万円増加、その他が58百万円減少したことにより、前連結会計年度末比11百万円増の1,149百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比84百万円増の5,991百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が139百万円減少、その他有価証券評価差額金が54百万円増加、為替換算調整勘定が10百万円減少、新株予約権が56百万円増加、少数株主持分が5百万円減少したことにより、前連結会計年度末比44百万円減の14,819百万円となりました。

②キャッシュ・フローについて

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少（同△1.4%）し、6,003百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて403百万円減少（同△93.3%）し、29百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益683百万円、減価償却費133百万円、前渡金の減少額163百万円、仕入債務の増加額464百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額174百万円、売上債権の増加額580百万円、たな卸資産の増加額365百万円、法人税等に支払額500百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べて465百万円増加（同906.0%）し、517百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入3,240百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,040百万円、長期預金の預入による支出1,500百万円、投資有価証券の取得による支出159百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べて48百万円増加（同8.3%）し、624百万円となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額498百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べて好調に推移いたしました。今後のIT関連の投資動向は不透明な部分が多いため、平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました平成22年3月期決算短信における「平成23年3月期の連結業績予想」から変更はございません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が19百万円減少しております。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,343,774	9,029,044
受取手形及び売掛金	5,568,797	4,988,566
商品	329,198	110,450
仕掛品	152,215	6,448
原材料及び貯蔵品	13,205	12,449
その他	422,378	639,951
貸倒引当金	△4,058	△5,258
流動資産合計	13,825,511	14,781,651
固定資産		
有形固定資産	424,517	488,400
無形固定資産		
のれん	15,302	28,194
その他	98,940	154,693
無形固定資産合計	114,243	182,887
投資その他の資産		
投資有価証券	2,564,007	2,276,806
長期預金	2,700,000	1,800,000
その他	1,182,961	1,241,595
投資その他の資産合計	6,446,969	5,318,401
固定資産合計	6,985,730	5,989,689
資産合計	20,811,241	20,771,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,947,556	2,482,962
未払法人税等	99,782	332,970
賞与引当金	189,836	363,859
役員賞与引当金	30,000	—
その他	1,574,442	1,588,557
流動負債合計	4,841,618	4,768,350
固定負債		
役員退職慰労引当金	—	13,994
退職給付引当金	955,872	871,876
その他	193,819	252,419
固定負債合計	1,149,691	1,138,291
負債合計	5,991,309	5,906,642

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,718	1,337,718
資本剰余金	1,445,118	1,445,118
利益剰余金	11,431,922	11,571,143
自己株式	△598,333	△598,333
株主資本合計	13,616,425	13,755,646
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△198,051	△252,270
為替換算調整勘定	△24,599	△14,257
評価・換算差額等合計	△222,650	△266,528
新株予約権	226,740	170,400
少数株主持分	1,199,416	1,205,180
純資産合計	14,819,931	14,864,699
負債純資産合計	20,811,241	20,771,341

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	16,947,344	18,706,658
売上原価	13,228,780	14,567,390
売上総利益	3,718,563	4,139,267
販売費及び一般管理費合計	3,301,011	3,580,378
営業利益	417,551	558,889
営業外収益		
受取利息	38,706	47,641
受取配当金	38,642	40,722
持分法による投資利益	—	35,486
補助金収入	57,680	—
その他	4,740	20,592
営業外収益合計	139,769	144,442
営業外費用		
減価償却費	—	2,059
持分法による投資損失	9,702	—
固定資産除却損	4,074	—
その他	5,441	1,346
営業外費用合計	19,217	3,406
経常利益	538,103	699,926
特別損失		
事務所移転費用	14,134	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,910
特別損失合計	14,134	16,910
税金等調整前四半期純利益	523,968	683,016
法人税、住民税及び事業税	191,346	275,816
法人税等調整額	62,802	34,516
法人税等合計	254,149	310,332
少数株主損益調整前四半期純利益	—	372,683
少数株主利益	18,942	14,212
四半期純利益	250,877	358,471

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	6,046,720	5,687,479
売上原価	4,748,243	4,394,766
売上総利益	1,298,477	1,292,712
販売費及び一般管理費合計	1,097,564	1,207,604
営業利益	200,913	85,108
営業外収益		
受取利息	16,279	16,479
受取配当金	17,460	17,468
持分法による投資利益	—	14,502
その他	14,014	12,089
営業外収益合計	47,753	60,539
営業外費用		
減価償却費	758	686
固定資産除却損	1,888	443
固定資産売却損	1,052	—
その他	55	70
営業外費用合計	3,754	1,200
経常利益	244,912	144,447
税金等調整前四半期純利益	244,912	144,447
法人税、住民税及び事業税	36,553	21,847
法人税等調整額	61,834	38,512
法人税等合計	98,388	60,360
少数株主損益調整前四半期純利益	—	84,086
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17,992	△2,957
四半期純利益	128,531	87,044

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	523,968	683,016
減価償却費	131,664	133,401
株式報酬費用	125,349	56,340
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,910
のれん償却額	—	12,891
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△244,495	△174,022
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,000	30,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	51,732	83,995
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△13,994
受取利息及び受取配当金	△77,348	△88,364
持分法による投資損益 (△は益)	—	△35,486
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,557	△580,231
たな卸資産の増減額 (△は増加)	223,566	△365,270
前渡金の増減額 (△は増加)	△55,110	163,350
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	—	△40,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	244,588	464,594
前受金の増減額 (△は減少)	92,989	△62,027
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,402	80,168
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	—	60,573
その他	22,625	13,812
小計	865,570	438,777
利息及び配当金の受取額	70,042	91,003
利息の支払額	—	△253
法人税等の支払額	△502,730	△500,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,882	29,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,963	△18,422
定期預金の預入による支出	△40,000	△1,040,000
定期預金の払戻による収入	—	3,240,000
長期預金の預入による支出	—	△1,500,000
投資有価証券の取得による支出	—	△159,133
差入保証金の差入による支出	△18,546	—
差入保証金の回収による収入	104,567	15,340
預け金の回収による収入	29,862	—
その他	10,478	△20,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,398	517,074

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
リース債務の返済による支出	△58,600	△58,600
配当金の支払額	△499,055	△498,762
少数株主への配当金の支払額	△18,600	△16,950
その他	△12	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,268	△624,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,898	△7,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△100,886	△85,270
現金及び現金同等物の期首残高	5,703,552	6,089,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,602,665	6,003,774

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。